

ま し ー

議会だより



No. 159

令和4年
12月定例会



益子小学校 6年生による子ども議会開催

12月定例会審議結果	2~3
一般質問	4~7
議員研修・議会報告会並びに意見交換会	8
議員研修・委員会活動	9
常任委員会活動	10~11
町民の声	12

12月定例会

こども医療費助成制度の対象年齢を拡大！

令和5年4月1日から

18歳まで
ほぼ
負担0!

令和4年第28回定例会は、12月1日から12月6日までの6日間の会期で開かれました。

補正予算6件、条例13件などを審議し、原案どおり可決したほか、専決処分が1件ありました。町政に対する一般質問では、6名の議員が登壇しました。

令和4年度 補正予算

令和4年度12月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	12月補正額	合計
一般会計	90億7,341.1万円	1億5,312.0万円	92億2,653.1万円
特別会計	国民健康保険	28億0,123.4万円	28億1,614.3万円
	後期高齢者医療	2億4,766.5万円	△439.1万円
	介護保険	17億3,857.5万円	114.7万円
	公共下水道事業	7億5,535.1万円	289.6万円
	農業集落排水事業	1億0,776.3万円	0万円
合計		147億2,399.9万円	148億9,168.0万円

※農業集落排水事業会計については、予備費による調整のため補正額が0円となっています。

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・上水道企業団水道事業減免補助金 4,700万円（環境課）→ 水道料金の基本料金が1~3月分免除
- ・小中学校図書システム導入 1,870万円（学校教育課）→ 全ての小中学校図書室にシステムが導入
- ・省エネ家電製品購入費補助金 1,000万円（環境課）→ 上限5万円（※エコキュートは上限10万円で購入費1/4が補助）
- ・塙地区産業団地用地の地質調査業務委託 473万円（観光商工課）

条例の制定 (全員賛成)	益子町職員の降給に関する条例の制定 (全員賛成)	条例の改正 (全員賛成)	益子町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正 (全員賛成)	益子町職員の定年等に関する条例の一部改正 (全員賛成)
地方公務員法に基づき、職員の意に反する降給に関する規定を設けること及び同法の一部改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢による降給に関し必要な事項を設けるため定めるものです。	地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年を段階的に65歳に延長し、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任規定期を設けること及び同法の一部改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢による降給に関し必要な事項を設けるため定めるものです。	地方公務員法の一部改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢の特例対象者を派遣対象者から除外等を行うものです。	地方公務員法の一部改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢の特例対象者を派遣対象者から除外等を行うものです。	地方公務員法の一部改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢の特例対象者を派遣対象者から除外等を行うものです。

こども医療費助成制度とは…

病気やケガなどでお医者さんにかかった場合、保険診療が適用された医療費の自己負担額を町で補助する制度です。

詳しくはこちら



地方公務員法の一部改正に伴い、減給の効果について定期延長後の給与を考慮した規定に改めるものです。

地方公務員法の一部改正に伴い、減給の効果について定期延長後の給与を考慮した規定に改めるものです。

地方公務員法の一部改正に伴い、減給の効果について定期延長後の給与を考慮した規定に改めるものです。

- 益子町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一
部改正 （全員賛成）
地方公務員法の一部改正に伴うものです。
- 益子町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一
部改正 （全員賛成）
地方公務員法の一部改正に伴うものです。
- 益子町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 （全員賛成）
地方公務員法の一部改正に伴うものです。
- 益子町こども医療費助成に関する条例の一部改正 （全員賛成）
対象年齢を18歳（高校3年生相当）まで拡大するものです。



- 益子町一般職の給与に関する条例の一部改正 （全員賛成）
地方公務員法の一部改正に伴うものです。
- 益子町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正 （全員賛成）
地方公務員法の一部改正に伴うものです。
- 令和4年度補正予算 （第5号）
高騰緊急支援給付金事業として、一般会計について1億975万円追加し、90億7431万1千円とするものです。

専決処分の承認

- 益子町図書館建設に関する請願 （令和4年請願第1号）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 益子町図書館建設に関する請願 （令和4年陳情第5号）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守るための陳情 （令和4年陳情第4号）
宇都宮市石井町
基本的人権を守る栃木県民の会
代表 増渕 賢一

請願

- 子供の健全な成長、発達のための教育活動を求める陳情 （令和4年陳情第3号）
益子町大字長堤 大岡功氏の後任人事で引き続き同氏が推薦されました。
- 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情 （令和4年陳情第3号）
（令和5年3月31日付けをもつて任期が満了する、益子町大字長堤 大岡功氏の後任人事で引き続き同氏が推薦されました。
- 緊急審議結果【不採択】 （全員賛成）
陳情の趣旨は概ね理解できるものであるが、国策としての事案であるので、遺憾ながら意見書提出までは至らないため不採択とする。
- 陈情者 （令和4年陳情第4号）
新規コロナの感染対策が長期化することによって子どものが健やかな心身の発達に弊害が生じていることを認識され、子どもたちの健やかな成長と学びの場を守るために、一刻も早い「子どもの感染対策の見直し」と感染状況に関わらず常に「子どもたちの権利」が守られるよう要望します。
- 陳情 （令和4年陳情第2号）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 緊急審議結果【継続調査】 （全員賛成）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 緊急審議結果【継続調査】 （全員賛成）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。



- 子供の健全な成長、発達のための教育活動を求める陳情 （全員賛成）
（令和4年陳情第3号）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情 （全員賛成）
（令和5年3月31日付けをもつて任期が満了する、益子町大字長堤 大岡功氏の後任人事で引き続き同氏が推薦されました。
- 陈情者 （令和4年陳情第4号）
新規コロナの感染対策が長期化することによって子どものが健やかな心身の発達に弊害が生じていることを認識され、子どもたちの健やかな成長と学びの場を守るために、一刻も早い「子どもの感染対策の見直し」と感染状況に関わらず常に「子どもたちの権利」が守られるよう要望します。
- 陳情 （令和4年陳情第2号）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 緊急審議結果【不採択】 （全員賛成）
陳情の趣旨は概ね理解できるものであるが、国策としての事案であるので、遺憾ながら意見書提出までは至らないため不採択とする。
- 緊急審議結果【継続調査】 （全員賛成）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。
- 緊急審議結果【継続調査】 （全員賛成）
慎重審議のため閉会中の継続調査とする。

人事

一般質問 6名の議員が登壇！

※議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、広報広聴常任委員会において議事録に基づいて精査した上で掲載しています。

小野澤 則子 議員 (5ページ)

- ① 町有財産の管理の現状と今後について

諸田 秀之 議員 (5ページ)

- ① 町民の安全対策について
- ② デジタル田園都市国家構想について
- ③ 地域福祉計画について

大関 保 議員 (6ページ)

- ① 防災対策について
- ② 人材育成と町内定住について
- ③ 企業誘致について

長岡 景介 議員 (6ページ)

- ① スクールゾーンの設定について
- ② 町主催で行った村上敦氏の講演会について
- ③ 広田町政の現在までと今後について

直井 瞳 議員 (7ページ)

- ① 重度心身障がい者医療費助成過払いについて
- ② 道路整備事業について
- ③ 図書館建設について

関 絹江 議員 (7ページ)

- ① 悠和館について
- ② ヤングケアラーについて



※質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内としています。

町議会ホームページから会議録がご覧いただけます。

(12月定例会の会議録は 2月下旬に公開予定です。)

会議録検索はこちらから→



一般質問の映像DVDを中心公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。

団体や民間に利用させている町有の土地、建築物等の現状及び適正な使用についてはどうのように把握しているのか

企画課長 当然その場ですぐ更新すべきであった。修正をしていく。

質問 台帳の変更ができるいない箇所はまだあるかもしれないと推測されてしまう。よくやつていただきたい。台帳のデータ化の状況はどうなっているのか。

企画課長 データ化すべきとは承知しているが、町民の利便性の向上に資するものから行なっていく考え方で、優先するものを行ってからになら。

企画課長 今後人口減少は加速し、民生費が膨らむ中で、町有財産を効果的にどう活用していくのか

質問 町有財産は広く町民のために適正に管理をせねばならないが、そのためにどうしているのか

町有財産は広く町民のために適正に管理をせねばならないが、そのためにどうしているのか

小野澤則子 議員



質問 観光協会に無償で貸している駐車場の土地はどんな経緯でそうなったのか。

企画課長 管理業務を委託しており、貸している土地ではない。

質問 町が負うべき仕事ではないのか。観光協会の重要性はわかるが隠れた援助と思われてしまう。

町長 町有財産の在り方、また今後観光行政をどうするかということも含めて総合的に検討して参りたい。

企画課長 町有の土地の台帳が実際の状況に合っていないかった。変更したのにそのままあつたのはなぜなのか。

質問 台帳の変更ができるいない箇所はまだあるかもしれないと推測されてしまう。よくやつていただきたい。台帳のデータ化の状況はどうなっているのか。

企画課長 町有財産は町の収入の確保に貢献させる財産である。そのためにも契約を見直すことも要るのではないか。

企画課長 今後の経済状況では考えていいないが、今後の状況によつて適宜改正はしていきたいと思う。

町長 町有財産は広く町民のために適正に管理をせねばならないが、そのためにどうしているのか

諸田 秀之 議員



体が見られるが、町は検討されるか。

総務課長 屋外拡張機のデジタル化やスマホでの発信など、世の中の動きを見極めながら検討してまいりたいと考えている。

質問 弾道ミサイル発射を挑発的に繰返しており、町民も多少なりとも不安を感じている。益子町は、宇都宮の駐屯地と茨城県は百里基地との中央に位置し、北朝鮮により極めて緊張や不安が高まつております。緊急事態が起きるか分かりません。

町長 防犯については町有施設に防犯カメラを設置しているほか、自治会からの申請に基づき防犯灯の設置を随時行つており、児童、生徒の安全、安心の確保に努めている。

質問 新型防犯カメラが安全確保に重要な役割を果たすようになつており児童、高齢者、徘徊老人の行動の把握をするはもとより、犯罪行動、犯罪抑止に駅、道路、公園の空白ゾーンの解消、行方不明者の早期発見、民間との連携で大幅に効果を上げており、新たな補助金はできないか。

総務課長 國の情報が流れれば直ちに防災無線を通して避難の呼びかけをしているところである。防空壕や地下シェルターについては國や県の動向を注視してまいりたい。

質問 陶器市で観光客が自動車に接する危険性があると考えるが対策を講じる必要があるのではないか。

町長 広報車での町内巡回、アナウンスによる注意喚起を行い、安全確保に努めたと報告を受けている。

企画課長 恒久的に利用したいといふ相談があつた時には、購入の提案をしているが、一括で購入できない時は賃借とすることもある。

質問 被災時有効とされる公衆電話設置状況把握、新無線機、液晶型受信機の導入等を検討している自治

総務課長 常に高いところだが、補助金の有無については今後の研究課題とさせていただきたい。

質問 陶器市で観光客が自動車に接する危険性があると考えるが対策を講じる必要があるのではないか。

町長 広報車での町内巡回、アナウンスによる注意喚起を行い、安全確保に努めたと報告を受けている。



大関 保 議員

防災対策 避難所にエアコンを

質問 避難所には発電機・蓄電池はあるか。

総務課長 発電機は備えている。

質問 避難所として一番利用される総合体育館武道場にエアコン設置を検討してはどうか。

総務部長 エアコンを武道館、体育館に備えるには金額的に問題が出るが、何かしら対応を検討しなくてはならないと認識している。

質問 備蓄庫の備蓄品で賞味期限間近の食品をどう処分しているか。また、備蓄品で液体ミルク、アレルギー対応の食料品は備えているか。

総務課長 期限切れに近い食品はNPO法人等に配布するほか、防災訓練時、関係者に配布している。液体ミルクはないがアレルギー対応食品はある。

町の奨学金制度の見直しを

質問 就学のために町を離れた方が町に戻つてもらえるように奨学金制度の見直しを

制度の見直しを考えないか。

町長 令和5年度から学校を卒業後、継続して町内に定住している方に対しても奨学金の返還免除の制度づくりを進めている。

質問 移住・定住対策として移住前の各個人のニーズに合わせ、お試し住宅をいくつか用意しては。

企画課長 オーダーメイドツアーや農業体験など実際に話を聞いてもらっている。お試し住宅は年齢の高い層の利用が多い状況でどのようにするか検討を始めている。

企業誘致を1年でも早く進めて

町長 産業団地整備の進捗状況は、工業専用地域に決定した。今後、地

質問 造成工事等を実施し、令和10年度から用地販売予定である。

質問 益子らしい企業誘致とは。

町長 SDGsに積極的に取り組む企業の誘致のほか、サテライトオフィス、コワーキングとかリモートでやれる形も考えたい。

村上敦氏の講演会について

質問 町主催で行つた氏の講演会

の目的は、域内循環型持続可能な町づくりへのスケジュールはどうか。町内事業者や町民の皆様に地域内循環を高める脱炭素戦略への理解を深めていただくことが目的です。今後先進的な事例を研究し、持続可能な町づくりに取り組んでいく。



長岡 景介 議員

スクールゾーンの設定について

質問 子供たちの安全な登下校をサポートするために、スクールゾーンを設定してはどうか。

教育長 各小中学校をはじめ、関係者の意見を伺いながら通学路安全対策協議会で意見交換して参りたい。

質問 いつ頃協議会を設定するのか。速度規制等は大変だと思うが、道路に大きくスクールゾーンと書くだけでも違うと思うのだがどうか。

教育長 出来るだけ早く、出来れば今年度中に、遅くとも来年度の早い段階で協議会を行いたい。

広田町政の今までと今後について

質問 半年が過ぎて、良い点悪い点をどう自己分析されるか。

町長 特段分析はしていないが、対話で進める町づくりを基本とし、町民の幸せと持続可能な共生社会実現のため町政運営を目指していく。

質問 産業団地の整備を1年でも早く進めるためには何か。段階で進出したい企業を募集し、工場で進め、1年でも早く企業が誘致できるようにしていきたい。

産業建設部長 用地取得が終わつた段階で進出したい企業を募集し、工場で進め、1年でも早く企業が誘致できるようにしていきたい。

質問 村上氏が提案していたような、賃貸住宅の提供は考えるか。

企画課長 住宅等のPFI法とか先進事例を研修や視察で学び始めてい

質問 不動産小口化の会社が作りやすくなっている。官民協力して住宅や店舗を建築して賃貸事業を積極的に行えば、新規起業・建設需要がある。

質問 不動産小口化の会社が作りやすくなっている。官民協力して住宅や店舗を建築して賃貸事業を積極的に行えば、新規起業・建設需要がある。

質問 不動産小口化の会社が作りやすくなっている。官民協力して住宅や店舗を建築して賃貸事業を積極的に行えば、新規起業・建設需要がある。



直井 陸 議員

道路整備の在り方について

質問 町民にとって最も身近な要望であり、町長就任以来、即時に取り組まれている道路整備事業について伺います。今年度実施された町道総点検は、どのような方針、基準により実施されましたか。

町長

町民から要望があつた箇所、舗装の破損が著しい箇所、緊急車両が入れない狭い道路等の点検を実施しました。

質問

透明性の観点から道路整備の優先順位を評価する新たな基準、可視化が必要ですが、どのような見解ですか。

町長

路線全体の整備と局所、緊急的な小規模な改良とで分けて考える必要があります。最近は小規模な要望が多く、各地区のバランスや緊急度、費用に対しての効果度等を考慮して状況に応じて対応します。

意見 総距離約294kmの町道整備は、費用対効果や経済波及効果を考慮し、中長期的に計画性をもつて整備されることを望みます。

図書館整備の現状について

質問 町職員による図書館整備検討委員会において、どのような協議事項をどのようなプロセスを経て、決定しますか。

町長

所管事項は、基本計画の策定、基本設計及び実施設計、建設工事、図書館管理運営方針等に関することとしている。協議プロセスは、議会の報告及び意見を伺い調整の上、町部課長会議に諮り、重要な案件は市議会での決定となります。

質問

建設に向けて「新設整備」と既存施設を利用した「増設整備」の比較検討資料が作成されましたが、どのように資料を活用されますか。

町長

図書館整備検討委員会等の協議資料や今後開催予定の住民報告会での資料として活用します。

意見 将来的な計画を見込んで、財政調整基金や公共施設整備基金の積み増しを願っています。

ヤングケアラーについて



絹江 関 議員

悠和館について

質問 ヤングケアラーを益子町では把握しているのか。

町長 健康福祉課にある子ども家庭総合支援拠点において、相談業務や必要な支援に関するソーシャルワークを行っている。益子町においてヤングケアラーに該当すると思われる事例はないものと認識している。

質問 栃木県でヤングケアラー実態調査が初めて行われたが、益子町ではこの調査を受けられたのか。

教育長 後で確認したいと思う。

質問 宿泊施設がオーブンして2年9ヶ月。今までの宿泊の推移は。2378名の宿泊を頂いている。

町長 令和4年10月末時点での総数は、いくら町に納められたのか。

質問 売上げの3%分を使用料として町へ納めるが令和3年の使用料は、いくら町に納められたのか。

観光商工課長 214700円。

質問 悠和館の改修に国から頂いた交付金の総額は。

質問 実態調査にきちんと答えていない人もいるのではないか。家族

質問 コロナの影響、物価高騰により暮らしが悪化し生活困窮者も増えています。経費ばかりかかつ採算の取れない事業はできるだけやめる方向で考えるべきではないか。

産業建設部長 損益分岐の稼働率が45%位が分岐点になる。令和4年度は稼働率が49.9%で採算に乗ってきており、今後も続けていきたい。

平成28年と29年に合わせて6526万円。

質問 実態調査にきちんと答えていない人もいるのではないか。家族

質問 なら支えて当たり前・自分がヤング

質問 ケアラーだと思っていない・声に出せない子供もいると思います。国の

質問 ヤングケアラー支援体制強化事業を利用する考えはあるのか。

民生部長 検討していないが早期発見のため地域や学校などで子供の変化に気付けるよう目配りや声かけをして、子供の将来の進路などに悪い影響が出ないよう考えていく。

**令和5年度予算の
要望を町長に提出**



11月29日、議会から町長に對し、来年度予算について要望書を提出しました。各種行政手続きにおける電子化の推進、ペーパーレス化及びDXの推進、スマート農業の支援、道路環境整備（草刈り等）の報奨金の増額、中学校卒業年度に子育て応援手当の増額、デジタルデバイド対策を含めたリカレント教育の充実などを要望しました。

**芳賀郡市議会議員
自治研修会**

議員研修

11月2日、真岡市の市民“いちご”ホールで研修会が行われました。講師はフリージャーナリストの鈴木哲夫氏で、「新型コロナが浮き彫りに市した地方自治体の力と課題」というテーマで講演を聴きました。

県町村議会議員研修会

11月22日、県総合文化センターで、研修会が行われました。講師は大正大学社会共生学部教授の江藤俊昭氏から、「議員報酬・定数・政務活動費を考える異議と手法ー「住民自治の根幹」としての議会の作動ーといふテーマで講演を聴きました。

議会報告会並びに意見交換会

ご参加いただきまして、ありがとうございました

議会報告会並びに意見交換会を10月22日に中央公民館研修室で開催しました。

今回、意見交換会のテーマを「町内の危険箇所」とし、たくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見は広報広聴常任委員会で審査し、各常任委員会に付託しました。

ご意見の一部を紹介いたします



○役場前国道と郵便局から来る町道の出口が鋭角で見づらく、交通量も多いため交通事故も起きていて危険な交差点である。
(総務産業)

○役場西交差点で役場方面から来た車が交差点を過ぎてすぐの道路に入ろうとしても、助成橋方面から来た車が何台か信号待ちしていると右折できない。停車禁止区域の検討してもらいたい。
(総務産業)

※その他、道路・水路に関する意見全て総務産業に付託

○前回意見交換会で荒れてしまった反省点から、意見交換ルールが設置されており、良かったと思う。意見、回答、話し合いは冷静にするべきだと思う。ぜひ執行部に意見をお伝えください。
(広報広聴)

○議員の間での打ち合わせができていない。自分の役割をもっと考えて欲しい。
(広報広聴)

**議会サポート制度の
実証が始まりました**



委嘱状交付の様子

議会サポートに応募がありました。3月までの間、議会サポート設置要綱（案）に基づき活動をしていただきます。主に会議（本会議、全員協議会、各委員会）を傍聴し、当該会議の運営並びに「議会だより」及び町議会ホームページ」それぞれに関する提言、意見等を提出していただくことになっています。今後議会を集約し、3月に意見交換会を開催する予定です。

行政視察研修



うなぎの加工場を建設予定であります。正に利益が利益を生む構図となっています。

ふるさと納税事業に対するトップの明確なビジョン、機能する組織、結果にコミットする人材、円滑な資金の流れ、情報の共有、富の分配、再分配等がきちんとされている印象を受けました。

また、ふるさと納税が財源とし、様々な事業を開拓してきました。ふるさと納税事業を展開しています。

例えば、境町では鉄道がなく公共交通が脆弱なことから子どもや高齢者等の交通手段の一環として、自動運転バスが運行されています。ふるさと納税や国の補助金を活用しており、利用料は無料です。

ふるさと納税については、この制度が続く限りはフル活用するが、制度が終了した後も生産・加工・販売などの現在の体制が継続できるよう視野に入れながら事業を行なつてきているということでした。返礼品も今ある物だけで満足せず次々と新商品の開拓に努めており、「干し芋」では約1億円の納税額を得ることがで



年連続関東1位、子育て世代が住みたい田舎部門 関東の町で1位である、茨城県境町で視察研修を行いました。

境町の橋本町長にも短い時間でしたがお話を伺うことができました。

ふるさと納税については、この制度が続く限りはフル活用するが、制度が終了した後も生産・加工・販売などの現在の体制が継続できるよう視野に入れながら事業を行なつてきているということでした。返礼品も今ある物だけで満足せず次々と新商品の開拓に努めており、「干し芋」では約1億円の納税額を得ることがで

ます。

子育て支援センターでは、室外に電動ゴーカートや室内にボーネルンドの大型遊具などがあり、子どもたちが楽しく過ごせるようになつていま

す。また、ワーキングスペースもあり、子どもを見守りながら仕事をすることができます。集中して仕事をしたい時やオンライン会議の時は子育てサポートが子どもの見守りをしてくれます。

境町はふるさと納税、子育て支援をはじめ、町の情報全てにおいて発信力が長けており、益子町も見習うところが多くあると感じました。

12月1日に町から議会に図書館建設に関する重要な資料が提示され、それを受けた当委員会を12月2日に開催しました。示された新築と増改築の比較検討資料の説明を受け質問をしたあと、図書館建設は当初計画された通り役場周辺地区画整理地内に新築がいいのか、それとも中央公民館の一部を増改築して、2階も足して図書館としたほうがいいのかを議員間で討議しました。どちらの案も図書館のスペースはほぼ同じ。

増改築案は公民館内なので多目的スペースを取らず総面

きたことです。その収益を使い、新たな干し芋工場やうなぎの加工場を建設予定であります。

高齢者の買い物支援や子供達の塾通いに利用されており好評のことです。

また、子育て支援についてもふるさと納税が活用されています。

図書館建設特別委員会に建設候補地比較検討資料が出されました

積が小さい分建築費が低い。維持管理のための人員費は公民館内の場合は職員が兼務でいるので新築より少ない。日常の建物維持管理費用は新築のほうが独立しているので高

い。新築のほうが設計の自由度や駐車スペース確保は優位。公民館内の増改築は、法的に既存部分改修が同時に必要となりその費用が乗る。しかし、その分今後行う公共施設長寿命化工事の費用は減る。どちらの案も国費と自費は同じ割合と考えて、20年間の借入返済額と維持費も含めた総額は新築が約10億円多い。40年の建築寿命まで考えると増改築は問題が多いが維持費はさらに4億円安い。このように一長一短様々だが、今後の町づくりに図書館をどう活かすかが重要という点は議員全員一致する。図書館を町づくりの拠点にするには新築が優位、全町的に分館まで考えて費用を抑えるには増改築が優位など、重視する視点で意見は分かれます。町執行部も早急に検討を重ねながら、パブリックコメントも行い議会とも協議を重ねると言つことなので、当委員会も今は結論を急がず、しかし遅くとも今年度中には結論を出す責任があると考えています。



9

～10月・11月・12月実施分～

- 農村公園の現状 (10/28)
- 防災計画 (11/28)
- 道路整備 (12/26)
- 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める

○公共下水道事業 (10/28)

○町税徴収事業 (11/28)

○役場周辺土地区画整理事業 (12/26)

意見書の提出に関する陳情 (10/28)

- 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守るために (12/5、12/26)

総務産業
常任委員会

8項目

●町税徴収事業

町税の徴収状況については、令和4年10月末の一般税の計として現年度分と滞納繰越し分を合わせて63.97%であり、前年同月との比較では1.48ポイントの増となっている。

従前からの継続的な取り組みとしては、催告書の送付、広報、電話催告と必要に応じて臨戸訪問等を実施している。

12月末までを目途に、9月末に現年の未納者を含めて一斉に催告書を送つており、以後も反応のない人には電話催告と臨戸訪問等を実施している。全国的な傾向として、訪問徴収は不在が多く効率が悪いので実施しない方向にある。当町でも臨戸訪問は生活実態を確認するために行うように変化してきている。

納付の利便性を高める取り組みとしては、コンビニ納付とキヤッショレス決済ということでPayPayとLINEPayを既に導入している。キヤッショレス決済の実績としては、国保税も含んでいるが、令和2年度の278件から3年度820件と伸びてきている。新たな取り組みとしては、納付書への全国共通の



【委員会の意見】

QRコードの導入があることは現在、町民税の特別徴収と法人町民税にだけ対応しているが、来年度から固定資産税及び軽自動車税にも拡大されることになっている。これにより、町指定の金融機関だけでなく、全国の金融機関やスマホからでも納税が可能になる。

●道路整備

道路整備の結果や建設課の重点事業と合わせて、舗装率は年々向上してきている。しかし、町税は自主財源の要であり、徴税は税負担の公平性保持の観点からも重要であるので、中長期的展望のもと県税事務所と連携を図りながら、更なる町税徴収率向上に当たれたい。

それらのうち、今年度に着手、または対応が済んだものが16項目あり、5割ほど進んだ状況である。その他、町道4号栗崎道祖土線の歩道整備や31号大川戸線局部改良等5項目については次年度以降に

対応する予定で、それらを含めると6割程度となるが、残りの箇所についても、予算や現地の状況、関係者の協力状況を見ながら対応していく。

【委員会の意見】

議会報告会並びに意見交換会で出された意見等については、道路に関する要望が16項目出された。小泉地内の土地改良事業により整備した道路の砂利が県道に流出する件は関係のある農政課を通じて対応したい。七井地内の県道黒田市塙真岡線の歩道整備については、現在も工事が進められており早期に整備が完了するよう要望していく。国道、県道沿いの草の繁茂やセンター

ラインが消えているところ、停止誘導線の設置などは所管が様々であるので、関係機関と協力しながら事故が発生しないよう努めていきたい。

役場周辺の道路に関する要望については、役場周辺土地区画整理事業に伴い整備する道路の活用を視野に入れながら対応していく。他の道路等への要望については、既に対応しているところもあるが、状況をみながら対応していきたい。

- 生活保護制度（10/28）
 - 介護保険保険者努力支援交付金（10/28）
 - 男女共同参画（11/28）
 - 体育施設の現状（11/28）
 - 学校図書館（12/26）
 - 小中学校における感染防止対策の現状（12/26）
 - 不登校児童・生徒の現状（12/26）
 - 益子町図書館整備に関する陳情（10/28、11/28、12/5、12/26）
 - 子供の健全な成長、発達のための教育活動を求める陳情（12/5、12/26）

教育厚生
常任委員會

9 項目

●体育施設の現状

総合体育館は建設から30年を経過しており、不具合があるたびに修繕をしている。トーナメント室の器具は最近更新をしたので、比較的新しいものになつていて、総合体育館の利用状況については、アリーナにおいて卓球、バドミントン、バレー、バスケットボールなどが利用をされており、令和3年度における利用者人数はアリーナが24740人、武道場が11135人、多目的室が4434人、トレーニング室が14037人である。令和2年度はコロナ禍の影響で利用人数が令和元年度に比べかなり減っていたが、3年度は徐々に戻ってきている状況である。

今年度、バスケットボールの昇降式ゴールシユートの保守点検を行う予定である。またLEDについては、今年度は総合体育館、来年度は北公園及び北体育館等についても確認し部品交換など修繕して整備する予定である。

アリーナの備品については利用者からの声や職員が随時確認し部品交換など修繕して

【委員会の意見】
合宿等により町外の団体が長期に亘り施設を予約することによって町民が使用できないことの無いよう対策を検討されたい。また、維持費や受益者負担分を調査して、施設使用料の見直しを検討された。

の紹介を行なつており、12月は人権週間があつたので、人権に関する本の紹介コーナーを設けた。

学校司書は授業内容に関係する図書を選書し提案をするほか、教員からの依頼により授業に使用する資料を揃えたりしている。

本の貸出について、益子小

73%となつてゐるが、不足分は購入予定である。

【委員会の意見】

学校図書館で読書だけでなく授業以外で活動できるようなら、たとえば自由研究など、学習意欲を高められるよう学習の資料を用意し全校で共有できるような検討をされたい。また、英語教材としての図書の充実を図られたい。中学校の図書基準は最低ラインであり、更なる充実に努力されたい。益子小学校の環境は町内でも一番新しく広い。他の小中学校の環境改善に努力され

●学校図書館

益子小学校図書室を見学。益子小学校図書室では学校司書が来ている曜日の業間及び昼休み、また担任が一緒にいる時に本の貸し出しを行つしている。

本の貸出について、益子小コードで管理していたが、ソフトが使用できなくなつてしまつたため、2学期から手書きの図書カードで対応している。現在町内各小中学校において図書カードで貸出を行なっているが、今年度中に町内各小中学校に図書システムを導入し、4月からの運用を予定している。

学校の図書費は1校につき9万5千円プラス児童・生徒1人につき950円で計算さ

学校の図書費は1校につき9万5千円。プラス児童・生徒1人につき950円で計算される。標準冊数に対し、益子小は14.8%、田野小は13.7%、益子西小は12.5%、七井小は10.6%となつており全て基準を超えている。中学校については、昨年古い図書をかなり廃棄したため71%



【委員会の意見】

73%となつてゐるが、不足分は購入予定である。

町民の声

赤羽 雅樹さん



町民の声に耳を傾ける姿勢に期待しています。
一番辛い方から一つずつ問題が改善される事を。

東京都北千住に生まれ、栃木県に来て50年、益子に30年、塙在住の71歳。

れないという状況でした。近年、近くまで下水工事が行われましたが、私の地域はやはり対象外でした。早く、工事をお願いしたいと思っています。

素晴らしい自然環境の益子町ですが、一つ心配があります。東海第2原発からわずか50kmで、激気象の

最近、もしもの事があれば避難対象区域になります。

21歳で栃木に来て卒業後そのまま就職。以来、技術系の仕事で残業残業、家には寝に帰るだけ、の様な生活。30年前に益子の塙に家を建て、移り住みました。

当時周りに家はほとんど無く澄んだ空気、騒音も無く静かで人混みも無く山が見えて、朝は鳥の声で目が覚める。なんて豊かなんだ、と感激しました。

仕事の過労で倒れて大学病院でも原因が分からず、指圧で身体が緩んだことで回復しました。人間の持つ自然治癒力のすごさに驚き、これで辛い思いをしている人達の役に立ちたいと思いました。

その後心身統一合氣道に年間工事の順番待ちにも入



庭にタヌキが入ってくる
自然環境です。

あなたも議会を傍聴しませんか

次回 3月2日(木)
開催予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

※新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。



「町民の声」あなたの声を！

町民の声を募集いたします。13文字×60行の中に、あなたが普段考えていること、行政に伝えたいことを書いてください。

顔写真、プロフィールもお忘れなく！

広報広聴
常任委員会

郵送または議会事務局（下記のTEL）までご連絡ください。
住所、氏名、電話、メールアドレスをお願いいたします。

出張議会意見交換会のお知らせ

自治会や育成会、各種団体などで、「議会報告会や議員との意見交換会をやってみたい」という方のところに議員が出向いて議会のしくみや町政の現状についてお話しします。

ご希望がありましたら、議会議員や議会事務局までご連絡ください。開催日時等詳しい内容についてはご相談ください。